あつぎ市議会だより

第263号　発行日/2023年8月1日　発行/厚木市議会　編集/広報広聴特別委員会　〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号　☎046(225)2700

第3・4回会議

重点施策の実現に向けた補正予算などを可決

一般質問16人登壇　福祉、教育、交通などを論議

第3回会議は、4月21日に会議期間1日間で開かれました。市長から令和5年度一般会計補正予算の1議案が提出され、質疑の後、採決し、可決しました。

第4回会議（6月定例会議）は、5月26日から6月19日までの25日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、固定資産評価審査委員会委員の選任と人権擁護委員の候補者の推薦の人事案件のほか、条例の改正・廃止、和解及び損害賠償の額の決定、令和5年度一般会計補正予算の12議案です。このうち、人事案件を除く8議案は、質疑終了後、所管の常任委員会に付託されました。

第2日から第4日までの3日間は、議員16人が登壇し、一般質問が行われました。第2日には、市長から工事請負契約の締結の2議案が追加提出され、質疑終了後、総務企画常任委員会に付託されました。また、休会中に各常任委員会・分科会が開かれ、付託された議案や陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日には、初日に提出された人事案件4議案に対する質疑が行われ、採決の結果、いずれも同意しました。その後、付託された各常任委員長から審査結果が報告され、討論の後、採決し、委員会に付託された全議案を可決しました（本会議の審議結果は8面を参照）。

『鮎の季節がやってきた』＝中町で撮影（公募写真）

第3回会議を4月21日に開催

補正予算

可決した補正予算議案は一般会計の1件です。

【主な歳出の内容】

◎電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費など　物価高騰に伴い、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するための措置

◎子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費など　物価高騰に伴い、低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を支給するための措置

【補正後の予算額】

934億6112万円（11億6112万円増）

第4回会議（6月定例会議）

固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員3人のうち、新川勉（つとむ）氏（旭町）の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、3人の任期が満了することに伴い、横浜地方法務局長から市長が後任委員の推薦依頼を受けた結果、服部弥生（はっとりやよい）氏（森の里）、飯塚尚（いいづかたかし）氏（旭町）、服部憲治（はっとりけんじ）氏（愛甲西）を引き続き推薦することに賛成全員で同意しました。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は5件です。

◎職員の特殊勤務手当に関する条例　新型コロナウイルス感染症の防疫等手当の支給に関する規定を削除するための改正

◎市税条例　地方税法などの一部改正に伴い、環境性能に応じて軽自動車税を軽減する特例措置を延長するほか、所要の措置を講ずるための改正

◎印鑑条例　電子署名などに係る法律の改正に伴い、端末機による印鑑登録証明書の交付申請手続を改めるほか、所要の措置を講ずるための改正

◎火災予防条例　対象火気設備の位置・構造・管理や、対象火気器具の取扱いなどに係る省令の改正に伴い、急速充電設備に係る基準を改めるほか、所要の措置を講ずるための改正

◎市営体育施設条例　耐用年数が経過した市営水泳プールの機能を再整備中のふれあいプラザに移転させることに伴い、施設を廃止するための改正

条例の廃止

可決した条例の廃止議案は1件です

◎情報プラザ条例　地域の情報化に寄与するために設置した情報プラザが所期の目的を達成したことによる廃止

和解・損害賠償

可決した和解及び損害賠償の額の決定の議案は1件です。

◎令和4年3月に、住民基本台帳事務における支援措置対象者が所有する共有名義の固定資産の納付書を、誤って加害者に送付したことにより、支援措置対象者の住所が漏えいした件について、和解を成立させ、損害賠償額を決定するもの

工事請負契約

可決した工事請負契約の締結議案は2件です。

◎厚木北公民館新築工事　相手方＝常濃・武雄特別共同企業体、契約金額＝8億1646万4千円

◎厚木北公民館新築（電気）工事　相手方＝ケンモチ電機・ダイト空調特別共同企業体、契約金額＝1億8396万7百円

補正予算

可決した補正予算議案は一般会計の1件です。経常的経費を中心とした「骨格予算」として当初予算を編成したことから、市長が公約に掲げた政策に取り組むための事業などを「肉付け予算」として補正するものです。

2面中段に続く

主な内容

◆一般質問　2～5面
◆広報広聴特別委員会　3面
◆委員会・分科会の審査　6面
◆特別委員会の活動報告　7面
◆本会議の審議結果　8面

市政に関する 一般質問 要旨

６月定例会議では、６月１日、２日、５日の３日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します。

交通安全対策の今後の取り組みは

ネクストあつぎ　髙橋　豊 議員

問　交通事故のない安心・安全なまちづくりを進めなければならないが、今後の取り組みは。

答　市長　重要な課題であると受け止めており、人優先の視点に立った道路・交通環境整備の強化を図り、市民協働による効果的な交通安全教育や普及啓発活動の推進に努めている。今後も警察署や交通関係団体と連携を図り、交通死亡事故ゼロを目指し、積極的な交通安全対策を推進していく。

●災害時の対応

問　災害に備えることで被害を小さくできるが、今後の取り組みは。

答　市長　早期の避難と初動対応が大変重要であると認識している。今後も、市民の皆さまに安全な避難行動を促すため、自助、共助の重要性を継続して周知するとともに、的確な初動対応ができるよう、自主防災隊を中心とした災害対応の強化を図るなど、災害に強いまちづくりをさらに進める。

●中小企業への支援

問　常に変化している社会経済情勢の中で、中小企業のニーズを的確に捉えた支援が必要だと考えるが、持続可能な産業振興の支援などについて、現状と今後の取り組みは。

答　市長　新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響が残るものの、経営状況は回復傾向にあると認識している。今後も、融資制度や各種補助金などによる支援を実施するとともに、商工会議所をはじめとした経済団体の皆さまの声をお聞きしながら、新たな局面を迎えた社会情勢に対応した有効な施策を迅速に進めていく。

家庭系ごみ収集の有料化は本当に必要か

日本共産党　栗山　香代子 議員

問　家庭系ごみの現状は。また、物価高騰で生活が苦しい中、現時点で有料化はあり得ないと思うが、見直しの考えは。

答　循環型社会推進担当部長　令和3年度の市民一人当たりの排出量は県内19市中7番目に少ない。また、8年度までの一般廃棄物処理基本計画には、有料化の検討を位置付けている。計画期間中に有料化による排出量の変化や市民負担の検証などの分析に取り組む。

●市立病院の健全経営

問　市民から信頼される医療を保つため、また、コロナの補助金がなくなる中で経営改善するためにも、救急患者の受け入れを増やすことが必要になる。コロナ後の病院運営をどのように考えるか。

答　病院事業管理者　救急応需は公立病院の使命である。また、市民の皆さまが困ったとき、頼りたいときに医療のプロフェッショナルとして応えることも使命であり、救急応需の拡大はまさに一丁目一番地である。救急患者を積極的に受け入れ、入院患者数を増やすことが、公営企業として健全経営を維持するために必要不可欠であるため、私が先頭に立ち職員と共に取り組んでいく。

●帯状疱疹（ほうしん）予防接種費用

問　助成できないか。

答　市民健康部長　令和2年1月販売開始のワクチンは、水痘ワクチンに比べて有効性が高いといわれているが、副反応疑い報告は約10万人に16人で、インフルエンザワクチンは約10万人に0・06人であるため、国の調査、審議を見ている状況である。

誰もが安心して暮らせる高齢者に優しい社会とは

日本共産党　池田　博英 議員

問　街のバリアフリー化の状況は。

答　市長　道路や駅前広場などの一体的なバリアフリー化を進めており、今後も、誰もが快適に移動できる安全な交通環境の整備に努めていく。

問　高齢者の生きがいづくりの現状は。

答　市長　外出支援や居場所づくりに取り組んでおり、今後も、高齢者のライフスタイルの変化による多様なニーズを把握し、いつまでも生きがいを持てるようさまざまな施策を推進していく。

問　バス停へのベンチ設置の要望が寄せられているが、今後の考えは。

答　道路部長　上屋（うわや）があり、設置後の歩道の有効幅員が確保されるなど、基準を満たしていれば設置可能である。バス待ち環境の改善に向け、積極的にベンチを設置し、人に優しい道路空間の形成を図る。

問　難聴は認知症の最大の危険因子との報告もある。介護予防や社会参加の点から、高齢者への補聴器購入費の助成を拡充できないか。

答　福祉部長　高齢者の声をお聞きし、今後、研究していく。

●地域包括ケア社会の推進

問　地区市民センターに相談に来る高齢者を、どのように支援につなげているのか。

答　福祉部長　平成30年に地域包括支援センターと区域を合わせ、地域福祉推進委員会や民生委員児童委員協議会など地域で活動する団体との連携を密にして顔が見える関係を築いている。地域全体で支援する体制づくりを推進していきたい。

1面下段から続く

【主な歳出の内容】

◎電子契約システム導入事業費　締結する契約書の電子化・ペーパーレス化を推進するための措置

◎公衆無線ＬＡＮ整備事業費　災害時の情報収集や公共施設利用の利便性向上を図るための措置

◎自転車ヘルメット購入助成事業費　購入助成額を増やし、着用をより一層推進するための増額

◎魅力発信事業費　情報発信力を強化し、市の魅力を市内外に広く周知するための増額

◎ＳＤＧｓ（エスディージーズ）推進事業費　市民や事業者にＳＤＧｓの取り組みをより一層普及・啓発するための増額

◎文化芸術発信強化事業費　文化芸術活動の充実・振興に向け環境を整備し、発信力を強化するための措置

◎自動交付機・コンビニ交付システム改修事業費　コンビニで交付できるものに、新たに戸籍に係る証明を追加し、利便性の向上を図るための措置

◎総合窓口整備事業費　市民窓口支援システムの導入により、市民サービス向上を図るための増額

◎高齢者外出支援事業費　高齢者タクシー助成や、かなちゃん手形購入費助成を拡充するための増額

◎子どものつながりの場づくり事業補助金　子どもにつながりの場の提供や、生活支援を行う団体を支援するための措置

◎がん患者医療用補整具購入等助成金　医療保険の適用外となる医療用ウイッグの購入などを支援するための措置

◎自家消費型太陽光発電等導入費補助金・電気自動車推進事業費補助金など　市のカーボンニュートラルの推進に向けた措置・増額

◎農産物ブランド化推進事業交付金　厚木の農産物のブランド化を推進するための措置

◎飼料価格高騰対策交付金・施設園芸農家燃油価格高騰対策交付金・畜産振興対策事業補助金　物価・燃油価格の高騰の影響を受けている畜産農家、施設園芸農家を支援するための措置・増額

◎中小企業等ＳＤＧｓ推進事業補助金　中小企業がＳＤＧｓの視点で取り組む、新製品などの開発を支援するための措置

◎不動尻魅力づくり促進事業費　七沢の観光拠点である不動尻の魅力を高め、誘客を促進するための措置

◎キャンプ場等誘致事業補助金　飯山・七沢におけるキャンプ場などの運営を支援するための措置

◎広域連携観光推進事業費　県央地区の5市町村の連携による観光振興を促進するための措置

◎走行ビッグデータ活用事業費　専用通信機を搭載した自動車から得られるビッグデータを分析することで、安心・安全な道路空間の創出とスムーズな移動環境づくりを促進するための措置

◎交差点等改良事業費など・白根才戸線道路改良事業費　交差点や道路拡幅の工事などにより、歩行者・自転車の安全の確保、車両通行の円滑化を図るための増額・措置

◎本厚木駅北口周辺整備事業費　本厚木駅北口地区と中町第2―2地区の一体的な街並みの整備を検討するための増額

◎中町北停車場線街路整備事業費　中町第2―2地区への主要アクセス道路を整備するための措置

◎消防資器材整備事業費　土砂災害用訓練施設ユニットを整備し、消防隊員の災害対応能力の向上を図るための増額

◎小中学校学校給食費負担軽減推進事業費　学校給食費の無償化に向けた市民への意向調査を実施するための措置

◎小・中学校給食食育推進事業費　食育のさらなる推進に向け、学校給食への地場農産物の取り入れを拡充するための措置

◎スポーツの聖地検討事業費　聖地実現に向けた施設整備などの可能性を調査するための措置

【補正後の予算額】

９８３億２５１８万５千円（48億６４０６万５千円増）

私たちの衣食住を支える 第一次産業への支援策は

あつぎみらい　渡辺　貞雄　議員

問　存続の危機に直面する酪農家・畜産農家などへの支援策は。

答　**市長**　農業をはじめ第一次産業を取り巻く環境は後継者不足や生産資材の高騰など、大変厳しい状況にあると認識しており、担い手の育成支援、畜産・施設園芸農家の営農継続に向けた適切な支援を行っている。今後も関係機関・団体と連携し、新鮮で安心・安全な厚木の農畜産物の地産地消を積極的に推進する。

●食料自給率の向上

問　学校給食で米飯の提供を増やすなど、食料自給率向上への対策は。

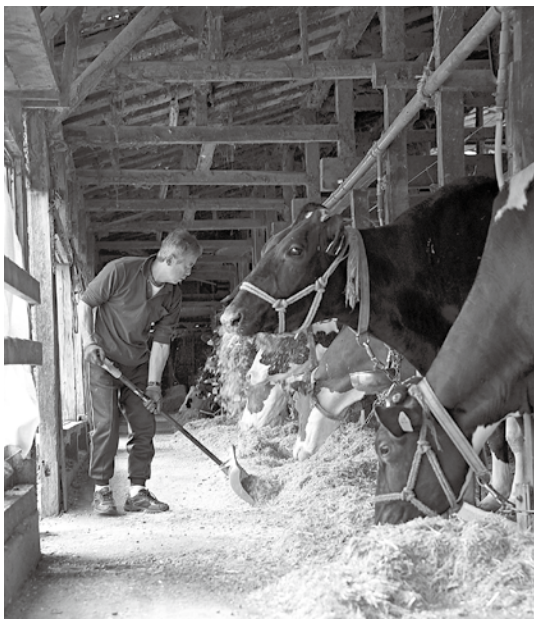
答　**環境農政部長**　市民朝市や農業者の直売所を中心に地産地消を積極的に推進することが農家の活性化につながり、自給率向上に効果的と考えている。また、学校給食への地場産食材の提供も向上の取り組みの一つと考えており、関係部署・団体などと連携して向上に努めていきたい。

●農業振興地域の保護

問　厚木インターチェンジ周辺の農業振興地域に物流倉庫が並んでいる。優良農地を守る上で農業政策と都市計画の連携が必要と考えるが現状は。

答　**環境農政部長**　市の農業振興地域整備計画に基づき優良農地の保全に努めており、農地の都市的土地利用と保全について、市の都市計画マスタープランなどと整合性を図り対応している。

答　**まちづくり計画部長**　物流総合効率化法により、優良農地を含まない、幹線道路など都市基盤が整っているなど基準を満たす特定流通業務施設は特別に許可される。



市内ではこの４年間に３軒の酪農家が廃業

観光振興における路線バスの重要性の認識は

新政あつぎ　髙村　真和　議員

問　コロナの影響で減便された路線バスの運行本数を元に戻せないか。

答　**まちづくり計画部長**　現状のダイヤで著しい車内混雑などが生じた場合は増便を要請する。

問　広域な観光振興を考えると、廃止路線の県立七沢森林公園の入り口付近にバス停が必要ではないか。また、七沢温泉の奥まで来る路線バスを、登山時期や土日祝日だけでも増便できないか。

答　**まちづくり計画部長**　廃止路線の復活は難しいと聞くが、今後もタクシー、鉄道などを含む公共交通事業者や関係部局と連携し、観光地へのアクセス向上に努める。また、登山シーズンなどに臨時便が運行されており、今後も利便性向上を図る。

●定住促進への考え

問　賃貸物件に移住し地域の良さを実感してもらってから定住につなげるため、増える空き家を活用する考えはあるか。

答　**まちづくり計画部長**　住宅購入が転入促進、転出抑制に効果があると判断して補助制度を創設し、一定の成果を上げている。空き家の活用は、国の取り組みなどを注視し、定住促進につながる方法を考えていきたい。

●森の里東地区の進出企業と地元への対応

問　物流施設の大型車両には通行許可ルートと推奨ルートがあるが、一本化できないか。

答　**都市整備部長**　推奨ルートへの一本化を働き掛けていく。

問　進出企業と地元との話し合いの場を設ける考えはあるか。

答　**都市整備部長**　設けることを考えていく。

児童・生徒をサポートする介助員の現状と待遇は

無会派　髙田　浩　議員

問　介助員の勤務時間が決まっているため、全員が毎日勤務できないと聞いている。介助員が足りないと担任がサポートの必要な児童・生徒につかざるを得なくなり、担任の負担となるが見解は。

答　**学校教育部長**　介助が必要な児童・生徒は増加傾向にあり、できるだけ介助員を配置して、担任の負担を軽減したいと考えている。十分な人数配置が厳しい状況にあるため、市のホームページや公民館だよりなどを活用して随時募集し、できるだけ必要な人数を配置している。

問　市内全ての小・中学校に、自由記述を最小限にした、可能な限り数値化できるアンケートを取ってはどうか。

答　**学校教育部長**　介助員の声を聞きたいので、方法などを考えたい。

問　給与の見直しが必要であると思うが見解は。

答　**学校教育部長**　会計年度任用職員という立場で勤務しているため、介助員だけの給料を見直すことは難しい。

問　市内36校の中の一つの学校では、今年度から介助員が通勤で使う車を校地内に駐車できなくなったという話を聞いている。時給千幾らの給料から駐車場代が削られてしまう実態があることを承知してほしい。このことから、駐車場代の補助は必要であると思うが財務部の見解は。

答　**財務部長**　実態をよく把握し、補助がどうなのかということについて検討するべきであると思っている。

用途地域に見合った土地利用の実態は

あつぎの会　井上　敏夫　議員

問　幹線道路沿線における準住居地域と近隣商業地域の利用状況は。

答　**まちづくり計画部長**　準住居地域は、自動車関連施設などの立地と、これに調和した住居環境を保護する地域であり、近隣商業地域は、日常生活の利便に供する店舗や事務所などの立地を図る区域である。

問　用途が分かれているところに道路がないため、明確に区分できていない。住居地域に準住居地域の建物が入り込んでいる実態があるが、こうした使い勝手や環境が悪い土地に対する認識は。

答　**まちづくり計画部長**　路線で認定している本用途地域は、道路沿線側から見た用途を整え、後背地（こうはいち）との良好な環境を保全する緩衝区域となっているため、用途地域の設定方法は適正であると認識している。

問　用途地域を決めればいいというものではなく、市民の財産の利用価値を高め、利活用できる何らかの施策が必要であると思う。市街化区域の約75パーセントは道幅が狭く、渋滞を迂回（うかい）する車両の通行で危険が多い不便な道路であり、身近な幹線道路の整備は必要である。道路拡幅に重点を置いている現在の施策は今後も変わらないのか。

答　**道路部長**　面として整備する区画整理事業とは違い、地元要望を基本とし、地域の実情を踏まえ、路線として道路を整備している。今後は、住みよいまちづくりを意識し、地元自治会や関係者と調整を図り、最善の道路整備の在り方を相談しながら進めていく。

広報広聴 特別委員会から

市議会の最高規範である議会基本条例を堅持しながら、緊張感を持って、議会運営に当たっています。中でも、最重視しているのが、皆さまに審議などの情報を提供することです。

コロナの感染法上の位置付けが２類から５類に移行、平時の対応に変わりました。この３年間、オンラインの取り組みが進みましたが、今後は議場でも傍聴していただきたいと思います。また、議会報告会・意見交換会の対面開催も再開していますので、ご参加をお待ちしています。

本委員会では、皆さまにお伝えすべき情報をまとめた市議会だよりを年４回お届けしています。編集では、見やすく、分かりやすい紙面づくりに努めます。

市議会は、行政の監視役としての議決責務と説明責任を果たし、さらなる議会改革を進めてまいります。

（渡辺貞雄）

政治家の寄付は禁止　有権者が求めることも禁止

◆開店祝や葬式などの花輪・供花

◆入学・卒業祝やお中元・お歳暮、見舞い

◆祭り、集会、旅行などへの寸志や飲食物の差し入れ

◆秘書などの代理出席による結婚祝い、葬式の香典

一般質問

主な質問と答弁

公文書管理条例の必要性は

公明党 川口 仁 議員

問 公文書管理条例を制定する考えは。

答 **市長** 情報公開条例と行政文書取扱規程に基づき、市民の皆さまへの説明責任を全うできるよう適正な管理に努めている。今後も管理の在り方を他自治体の事例も踏まえ、研究していく。

答 **総務部長** 歴史公文書の管理の面では、現行の規程などでは対応できない面があるため、適切に管理していきたい。

●スポーツの聖地づくり

問 検討の進め方は。

答 **市長** 競技別に施設の規模やコストなどの基礎データを調査し、整備に向けた研究を進め、トップアスリートの育成や生涯スポーツの普及・推進など、スポーツ環境の充実を図っていく。

問 スポーツ施策や文化芸術の振興などを幅広く展開するために、機構改革を行う考えは。

答 **石塚副市長** 慣例にとらわれることなく、市長部局と教育委員会の垣根を超えた分野横断的な視点に立ち、組織の在り方を考えていきたい。

問 近隣市町村や観光事業、民間企業と連携する考えは。

答 **市長** 県央姉妹都市構想に掲げる市町村との連携も視野に入れ、トップアスリートによる一流のプレーを観る機会や各種競技の全国大会の誘致などを進めていく。

答 **社会教育部長** 全国規模の大会やプロスポーツが開催できる施設の整備は一大プロジェクトになるため、民間活力の導入を考えなければならないと認識している。

答 **政策部長** 関係市町村が連携した連絡会の中で、イベントの実現性を協議していく。

厚木市議会会議録検索

新たなスタイルの道の駅を設置していく考えは

きずな 松本 樹影 議員

問 地方創生の観点から、地域のあらゆる世代が活躍、交流する地域センターとしての道の駅や、防災道の駅を設置していく考えは。

答 **理事** 交流や防災の拠点など、役割は多様化していると認識している。社会情勢の変化や要請を踏まえ、地域の課題解決に向けた活用について考えていきたい。

●今後の企業誘致の展開

問 郊外の人口減少・流出を抑制するために、企業誘致は大事な政策であると思う。現在、森の里東地区や酒井地区で産業用地への企業誘致が進んでいるが今後の展開は。

答 **産業振興部長** 企業誘致を地域経済の活性化につなげるため、環境、エネルギー、医療福祉、防災、食品、流通、情報関連産業を条例で戦略産業と位置付け、雇用の創出や定住促進を目指している。誘致に向けては、奨励金や税の優遇措置を実施している。今後も関係部署と調整しながら産業用地を創出し、雇用創出効果が高く、地域経済への波及効果の高い戦略産業の誘致に取り組む。

●市の鳥の制定

問 県内の多くの自治体が制定しているが、本市のシンボルとして鳥や魚などを制定する考えは。

答 **政策部長** 市全体の機運の高まりを考慮しながら研究していきたい。

問 野鳥に関する取り組みは。

答 **環境農政部長** 愛鳥週間にちなみ、5月に中央図書館では、「ここにこの鳥 こんな鳥」というテーマで身近な鳥に関する本などを集め、紹介する特集展示を実施した。

市が目指すバリアフリー社会の推進は

公明党 遠藤 浩一 議員

問 バリアは、障がいや年齢などにかかわらず存在する。また、心という見えないものにも存在する。バリアフリー社会は全ての人にとって優しい社会であり、強く推進を願うが市の見解は。

答 **市長** 誰でも安心して生活できるよう、ハード面とソフト面のバリアフリー化を推進し、住みやすいまちの実現に取り組んでいる。今後も、歩道の段差解消など道路環境の整備に努め、公共施設の点字ブロックやみんなのトイレの設置など、計画的なバリアフリー化に取り組む。また、多様な人々が理解し支え合う心のバリアフリーが重要であるため、さまざまな媒体を活用し継続的な啓発を行っていく。

問 歩道の標準の高さである5㌢を大きなバリアだと感じる方もいる。このような住民に寄り添う環境整備が必要であると考えるが市の見解は。

答 **道路部長** 高齢化の進展など、社会構造の変化や道路に対するニーズも多様化している。今後も市民の皆さまに寄り添い、円滑に移動できる道路環境整備に取り組む。

問 情報を市民が等しく取得できるように環境を整えることが望ましい。本市は、あらゆる媒体で情報を発信しているが、それでも取得しにくい方々への対応は。

答 **市長室長** 広報あつぎでは点字や録音、ホームページでは音声読み上げや多言語化の対応をしている。今後も情報の受け手の立場に立ち、分かりやすい内容にするなど、さまざまな手段で効果的な情報発信に努めたい。

行政の仕事と費用対効果についての考えは

無会派 後藤 由紀子 議員

問 令和元年度、収納課の職員1人に300万円以上の残業手当を支払った実態がある。税金の徴収業務に対する費用対効果についての考えは。

答 **財務部長** 収納課はチームで動いており県外に行くこともあるが、必ずしも費用対効果で税金の賦課、徴収をしているわけではない。結果としてその年の仕事が多く、労働の対価として支払ったということである。

●就労支援機関との連携

問 神奈川県央地域若者サポートステーション（サポステ）は、週20時間以上の就労で雇用保険を取得できる職業を目指す、15歳から49歳までの方を対象に支援を行う団体である。令和3年6月定例会議の一般質問で、サポステを連携先として積極的に支援していきたいとの答弁があったが、その後の対応は。

答 **福祉部長** 本市では、生活困窮者を対象に就労準備支援を行っており、相談者に寄り添う伴走型の支援が多かったため、サポステにつなぐケースがなかったが、今後は相談者の年齢や心情などの状況によっては連携していきたい。

●男女共同参画計画

問 第4次計画において、性的少数者、LGBTQなどの方に対する理解を深める啓発を重点取り組みとした理由は。

答 **協働安全部長** 市民意識調査において、偏見や差別などにより、LGBTQの方にとって生活しづらい社会となっているか尋ねたところ、そう思うと答えた方の割合が44・8㌫と非常に高い結果であったためである。

補聴器購入費助成の拡充の考えは

公明党 山﨑 由枝 議員

問 加齢性難聴は、認知機能低下と深く関連しているという研究もある。補聴器の利用は認知症のリスクの高まりを防ぐために重要であるが、助成額を拡充する考えは。

答 **福祉部長** アンケート調査やさまざまな機会を捉えてニーズの把握に努め、研究していきたい。

●帯状疱疹（ほうしん）ワクチン接種費用の助成

問 近年、帯状疱疹発症者の増加と低年齢化が危惧されているが、ワクチン接種費用を助成する考えは。

答 **市長** 現在、厚生科学審議会において、予防接種法に基づく定期予防接種のワクチンとして、効果やその持続期間、対象年齢、安全性の評価が進められている。引き続き、国の動向を注視し、判断していく。

●不登校児童・生徒への支援

問 取り組みの状況は。

答 **教育長** 児童・生徒の社会的自立に向け、相談活動を充実させるとともに教育支援教室を設置し、多様な学びの場を提供している。小・中学校では、別室での支援や放課後登校、定期的な家庭訪問など、本人の状況に合わせた支援を行っている。

問 今後の取り組みは。

答 **学校教育部長** 校内の居場所づくりをより充実させるとともに、関係機関と連携を図り、児童・生徒一人一人に応じた多様な支援に取り組んでいく。また、不登校特例校の設置も含め、効果的な支援の充実のために今後も研究していく。

厚木市議会議会中継システム

風水害における防災対策の取り組みは

あつぎの会 名切 文梨 議員

問 風水害を想定した訓練を全市的に行ってほしいという市民の声を受け、平成30年から要望し続けているが、現状は。

答 **市長室長** 今年度、モデル地区などを選定し、地域と行政が連携して訓練を実施する中で課題を整理し、今後の実施に向け検討を進めていきたい。

問 地震と風水害で避難の仕方が変わることは、ペットの同行避難にも反映する必要がある。市のマニュアルには、避難所の建物内にペットを入れることは原則禁止とあるが、台風の場合は屋内での避難場所を確保しておかなければならない。現状と見解は。

答 **環境農政部長** 現在、風水害の避難所運営マニュアルの詳細を詰めているところで、その中でも検討していく。

●感震ブレーカー*設置補助

問 補助制度の検討は。

答 **市長室長** 自主防災隊などからも有効性などの話があった。補助制度の創設に向けて、研究、検討をしていきたい。

●高齢者の移動手段

問 買い物や外出がしやすいまちづくりのため、時速20㌔未満で公道を走れ、地域内の移動に適した環境に優しい高齢者の移動手段である電動車グリーンスローモビリティを運行する考えは。

答 **まちづくり計画部長** コミュニティ交通の導入検討をさらに進める中で、グリーンスローモビリティや移動手段の技術の進歩が地域の移動ニーズや課題解決に合致すれば、導入の可能性も十分にあるため、引き続き関係部署とも連携を図り研究を続けていく。

*設定値以上の揺れを感知すると、自動的に電気の供給を遮断し、通電火災を防ぐ機器

交通混雑や通勤通学環境改善に向けた取り組みは

新政あつぎ 髙橋 知己 議員

問 交通混雑の現状と今後の取り組みは。

答 **市長** これまでの道路整備や交差点改良により確実に減少しているが、一部の国道・県道などの交差部で交通混雑が発生している。今後も交通マスタープランに基づき、道路ネットワークなどのハード対策と、交通需要マネジメントなどのソフト対策に総合的に取り組んでいく。

問 通勤通学環境の現状と今後の取り組みは。

答 **市長** 郊外部に住宅団地や企業、大学が多く立地する本市は、バス路線が充実しており、多くの方が利用している。交通量の多い国道246号などの主要幹線道路の交差部における交通混雑がバスの運行に影響を及ぼしていることから、今後も、路線バスの定時性、速達性の向上に向け、関係機関と連携し、改善を図っていく。

●愛甲石田駅と周辺開発

問 愛甲石田駅は厚木、伊勢原の両市にとって重要な都市基盤であり、市境で分断することなく一体的に開発することで、ミニマムコストで最大限の効果を生み、自治体間の相乗効果を生み出すことが期待できる。市長が掲げる県央姉妹都市構想の中核プロジェクトの一つと位置付け、両市共同で取り組むに値する事業と考えるが、見解は。

答 **市街地整備担当部長** 一体的に整備する必要があると認識しており、これまでも情報や意見を交換してきた。今後、事業展開するに当たっては、伊勢原市と歩調を合わせ、一体的に整備できるよう進めていきたい。

各種ハラスメントに対する本市の取り組みは

ネクストあつぎ 奈良 直史 議員

問 本市に寄せられるクレームや苦情はそれ自体が悪ではなく、有益な情報提供も含まれる。カスタマーハラスメント（不当要求行為）との境界線をどこに設けているか。

答 **総務部長** 一般的なクレームは行政サービスの向上につながるものや行政側のミスなどに対して改善点などを指摘し、業務改善や改めて行政サービスの提供を求める行為であると考えている。一方、カスタマーハラスメントは、根拠のない執拗なクレームや、要求を通すための長時間に及ぶクレーム、あるいは暴力的、威圧的、差別的な発言などの状況を総合的に考慮し、判断している。

問 あらゆるハラスメントを撲滅させるため、子どもの頃から社会のルールを互いに共有する取り組みが求められるが、学校教育の分野での取り組みは。

答 **学校教育部長** さまざまな活動の中で人間関係のトラブルなどがあった場合でも、指導の契機として捉え、自分の言動が相手に与える影響や、人それぞれの感じ方の違いなどについて考えさせたり、適切な行動について指導したりできるよう努めている。

問 中小企業もパワーハラスメント防止対策が義務化されたが、即応できる事業所は限定的である。市の相談窓口を設置することへの見解は。

答 **産業振興部長** パワーハラスメントを含めた幅広い相談に応えていくため、経営者や起業者向けに今年度から「起業・経営なんでも相談会」を実施している。

あつぎ市議会だより

安心で安全な公園づくりに向けた取り組みは

きずな 新井 啓司 議員

問 ぼうさいの丘公園の駐車場確保の状況は。

答 **都市整備部長** 全8カ所、345台分を確保している。

問 北側第3駐車場の出入口は1カ所しかなく、車と人の動線が重なっているが、安全対策をどう考えているか。

答 **都市整備部長** 歩行者専用の出入口を設置するなど、安全性を高める対策を講じていく。

問 ふわふわドーム利用者の熱中症対策として、テントの増設やミストシャワーなどを設置する考えはあるか。

答 **都市整備部長** 多くの子どもや保護者が安全に利用できるよう、涼む場所づくりについて委託先と調整していく。

●安全な歩道の確保

問 小野橋から宮前橋までの堤防道路が一部狭く、歩行者の安全確保が十分とは言えないが、改修に向けての取り組みは。

答 **道路部長** 歩道整備工事を今年度内に着手するとともに、玉川中学校までの道路拡幅整備を予定している。

問 JAあつぎ玉川支所付近の歩道整備の完成までのスケジュールは。

答 **道路部長** 用地買収は完了しており、電柱移設を含め、今年度内に完成予定である。

●学年始めの児童・生徒の受け入れ体制

問 学年始めの休業期間に土日を含む場合、児童・生徒の受け入れ準備に影響が出ているが期間を延長する考えは。

答 **教育総務部長** 学校現場から意見を伺いながら、教職員の働き方改善の視点も含め、日程の在り方を検討していく。

令和４年度 政務活動費会計報告

地方自治法や厚木市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派などに対して所属議員１人当たり月６万円の政務活動費を交付しています。令和４年度における各会派などの支出状況は、次のとおりです。

（単位：円）

会派等名称（所属議員数）		ネクストあつぎ（８人）	公明党（５人）	きずな（４人）	新政あつぎ（３人）	あつぎみらい（２人）	あつぎの会（２人）	日本共産党（２人）	無会派A（１人）	無会派B（１人）
交付額（A）		5,700,000	3,600,000	2,880,000	2,160,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	720,000	720,000
支出額	調査研究費	279,897	0	3,800	257,302	0	27,499	229,000	34,222	0
	研修費	921,640	679,354	1,099,880	224,680	160,600	215,296	541,717	339,597	70,320
	広報費	2,980,607	1,013,887	1,317,140	1,274,822	245,300	1,331,960	641,800	91,520	748,000
	広聴費	346,790	274,524	80,642	120,926	135,221	54,074	108,387	85,469	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	415,994	165,267	54,129	104,926	10,742	1,427	0	196,701	11,963
	資料購入費	479,028	297,290	168,191	168,108	91,068	1,980	163,896	49,800	22,060
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	49,500	333,890	0	0	0	0	0	0	0
	合計（B）	5,473,456	2,764,212	2,723,782	2,150,764	642,931	1,632,236	1,684,800	797,309	852,343
残額（A－B）（返戻額）		226,544	835,788	156,218	9,236	797,069	0	0	0	0

ネクストあつぎ：神子雅人、奈良直史、三橋文男、田口孝男、髙橋豊、瀧口愼太郎、井上武、難波達哉　公明党：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山﨑由枝、田上祥子
きずな：石井芳隆、松本樹影、新井啓司、髙田昌慶　新政あつぎ：髙橋知己、望月真実、髙村真和　あつぎみらい：渡辺貞雄、松田則康　あつぎの会：名切文梨、井上敏夫
日本共産党：栗山香代子、池田博英　無会派A：髙田浩　無会派B：後藤由紀子
※会派等名称、所属議員名、議員数は、年度当初のものです。
※「ネクストあつぎ」は、令和５年２月５日に井上武議員が辞職したことにより、60,000円（60,000円×１月×１人）を戻入しました。

委員会・分科会の審査

条例改正・補正予算など

―主な質疑と答弁―

条例改正や令和５年度補正予算などの議案について、委員会・分科会での主な質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画

○一般会計補正予算

問　魅力発信事業の詳細は。

答　本市の特徴や魅力、施策などを市内外に広く周知するため、ドローンを使った動画や市の事業に関する動画を作成・発信するほか、民間のホームページや公共交通機関などにおける広告事業の展開、また、市のホームページのトップページの見直しや特設サイトの構築など、効果的な情報発信をするものである。

問　防災マニュアル作成事業について、主な改正点は。

答　安全に避難するための情報として、警戒レベルと避難のタイミング、避難行動などの情報を分かりやすく修正する。また、災害に対する家庭での準備、地域のつながりなどについて掲載する。

問　ペット避難場所整備事業の詳細は。また、動物の種類は。

答　災害時に飼い主とペットの同行避難などに対応するため、避難場所にテントやペット用のシーツ、消臭剤などを整備するもので、ぼうさいの丘公園の倉庫に備蓄し、必要に応じて避難所に運ぶ。また、動物の種類は小動物で、犬や猫である。

問　公衆無線ＬＡＮ整備事業の内容は。

答　本厚木駅前東口地下道、東町スポーツセンター、ふれあいプラザ、厚木中央公園、厚木公園の５カ所に整備予定である。

問　公園にWi-Fi（ワイファイ）環境を整備する目的は。

答　厚木中央公園は、指定避難所であり、イベントなどでも使用されることも想定して整備している。厚木公園は、指定避難所には指定されていないが、中心市街地の活性化に向けたイベントなどでも使えるため、今回新たに整備する。

市民福祉

○印鑑条例の一部を改正する条例

問　改正の内容は。

答　法改正に対応し、住民票の写しや印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスにおいて、電子証明書が搭載されているスマートフォンでの交付を可能にするために改正する。

○一般会計補正予算

問　予防接種事業費について、市内の新型コロナウイルス感染者数をどう把握しているのか。

答　感染症法上の２類から５類に移行になったことに伴い、全数把握から定点把握になり、毎週県から保健所管内という形で発表されている。本市は厚木保健所管内という形で把握している。

問　市内で接種を受けられる医療機関は。

答　50カ所以上ある。

問　今後、大規模接種会場などを設置する上での考えは。

答　春に開始した集団接種会場を保健福祉センターで６月末まで開設している。秋は、感染状況や接種状況、逼迫状況を見ながら、開設するのかを判断したい。

問　子どものつながりの場づくり事業補助金について、事業の内容は。

答　地域における子どもの見守りを推進し、地域社会からの孤立防止を目的に、つながりの場の提供や生活支援を行う団体に対し、最大10万円を補助する予定である。

問　市内の活動団体はどのくらいあるのか。

答　子ども食堂は５団体、フードパントリーは１団体、学習支援は１団体活動している。

問　振り込め詐欺等防止装置購入費補助金について、対象年齢を65歳に引き下げた要因は。

答　令和４年度に市内で認知された還付金詐欺20件のうち６件が65歳以上であったためである。

環境教育

○市営体育施設条例の一部を改正する条例

問　市営水泳プールが８月31日をもって使用できなくなることを子どもたちや親へどのように周知するのか。

答　市ホームページや広報、ポスター掲示などのほか、市内小・中学校を通じて児童・生徒への周知を予定している。

○一般会計補正予算

問　農産物ブランド化推進事業交付金の内容は。

答　厚木独自の農産物のブランド品開発、ＰＲなどを推進するための調査・研究を行う団体などに対して交付する。上限５００万円で２団体を見込んでいる。

問　小・中学校給食食育推進事業について、納入される作物のうち曲がったものなどははじかれてしまうが、フードロスの観点から、調理前後も踏まえた広い視野で活用することへの見解は。

答　学校給食でもフードロスは大きな問題となっている。朝の限られた時間で大量に調理を行うには効率が求められる。規格外の作物は加工が難しいことから、学校給食以外も含めた地場農産物の利用を進めていきたい。

問　学校司書配置事業費増について、図書館環境充実の内容は。

答　第３次子供読書活動推進計画における読書活動推進事業の一つとして、新たに「結ぶプロジェクト」を市立中学校で実施し、学校図書館と中央図書館を結び、卒業後も生涯学習の中で図書館の蔵書を利用する環境を中学校段階からつくることを考えている。

都市経済

○一般会計補正予算

問　通勤環境向上調査事業費について、大型バス発着場をどのような方向性で調査するのか。

答　庁内の関係部署で検討し、今と同じ大きさの敷地を本厚木駅周辺で確保することは難しいという結論が出たため、道路上で送迎バス専用レーンを設けるなど、他の可能性を含めて考えていきたい。

問　本厚木駅北口周辺整備事業の委託内容は。

答　本厚木駅北口地区、厚木バスセンター、中町第２―２地区複合施設エリアを中心に、本厚木駅北口における生まれ変わりに向けた検討を行う。具体的には、駅前の建物や広場のレイアウトの検討を踏まえ、歩行者の快適性や沿道建物との関係性、オープンスペースに配慮した公共空間の創出、デザイン性を含めた検討を行う。さらに、まちづくりのイメージの実現に向け、ハードとソフト対策の短期・中期・長期的な視点や、施策の実施主体の明確化など、具体的な検討を行っていく。

問　観光地の魅力づくり促進事業補助金の内容は。

答　観光協会に委託をして、二つの事業を展開する。一つ目は、厚木のアユを見る、釣る、食べるというところから、アユのつかみ取り、アユ釣り、塩焼きなどを体験できるツアーやイベントを実施する。二つ目は、昨年も実施している「鮎×コロまつり」で、アユ、豚ホルモン、豚漬けなど、食をテーマとしたイベントを開催し、市の多彩な食文化を発信することを予定している。

議会運営の在り方など議長の諮問に答申

令和４年11月21日に議長が諮問した「議会の在り方に関する検討について」に対し、令和５年４月21日付けで議会運営委員会から答申がありました。

【検討事項】
議会の在り方に関する検討について

【検討結果】
それぞれの項目については、次のとおりとする。

左から瀧口慎太郎副議長、松田則康議長、遠藤浩一委員長、新井啓司副委員長（提出時点）

諮問事項１　委員会のオンライン開催について
対面での開催を基本とするが、大規模災害や感染症の際のオンライン開催に向けての詳細は、次期において検討することとする。

諮問事項２　日曜議会、夜間議会の開催について
現時点では、開催しないものとする。ただし、今後の議論を妨げるものではない。

厚木市議会 友好都市交流訪問団

４月28～30日に韓国軍浦（くんぽ）市に訪問団を派遣し、交流を深めました。

ツツジ祭りの会場

市役所で開かれた歓迎会

市長表敬訪問

- ツツジ祭り開幕式観覧
- 軍浦市長･議長表敬訪問
- 歓迎会、夕食会出席
- 議場、図書館視察
- バンウォル人造湖散策
- 茶道体験　など

お気に入りの写真を議会だよりに 募集 表紙掲載写真

市内で撮影した四季折々の風景など、厚木の魅力あふれる写真を募集します。

今回は、第265号（11月15日発行）に掲載する写真の募集です。応募締め切りは、９月27日です。

応募方法などは、ホームページでご確認ください。

調査研究活動の報告

広報広聴特別委員会 中心市街地活性化特別委員会

両特別委員会による活動報告が６月定例会議で行われました。設置された令和元年８月７日以降の４年間にわたる活動内容と、各委員からの今後に向けた意見などを紹介します。

広報広聴特別委員会

〈設置目的〉議会の広報広聴活動の推進のための調査研究
〈主な活動〉あつぎ市議会だより発行、議会報告会、行政視察

令和元～３年　委員長：田口 孝男　副委員長：新井 啓司　委員：井上 敏夫、栗山 香代子、遠藤 浩一、山﨑 由枝、望月 真実（髙村 真和）、難波 達哉、松田 則康
令和３～５年　委員長：髙橋 豊　副委員長：山﨑 由枝　委員：松本 樹影、三橋 文男、名切 文梨、栗山 香代子、寺岡 まゆみ、望月 真実、渡辺 貞雄（松田 則康）

活動報告

議会報告会

第14～17回について、司会や資料作成、会場設営などを議員自ら務め、活動報告と意見交換を行いました。また、感染症まん延時でも実施できるよう、初のオンライン議会報告会を開催しました。

依知南公民館で実施した報告会

あつぎ市議会だより

定例会議における議案の概要や一般質問、委員会の審査状況を中心に編集し、市民の皆さまが議会に関心を持っていただけるよう作成してきました。第257号（令和４年２月発行）からは表紙掲載写真の公募を開始し、より親しまれる紙面づくりに取り組みました。

行政視察

大分県の大分市と日出町を訪問したほか、大磯町、三重県四日市市、栃木県足利市にオンライン視察を実施し、市議会だよりやオンライン議会報告会、市議会モニター制度、高校生議会、動画制作、中学生への出前授業などについて調査しました。

四日市市へのオンライン視察

委員の意見

あつぎ市議会だより

①一般質問の映像配信に係るＱＲコードの毎号掲載を検討されたい。
②紙面のリニューアルを検討されたい。
③傍聴者の声を載せるなど、市民参加の手法を検討されたい。
④議会だよりの工夫について再度議論されたい。

議会報告会

①市内の中学生や高校生、大学生を対象にした開催について、議員が出向く出前形式にすることも含めて検討されたい。
②団体対象については、今後も各分野の団体と実施されたい。
③市民向け（対面式）の周知方法を検討されたい。
④オンラインによる開催方法を改めて検討されたい。
⑤ハイブリッド（オンライン・対面）での開催に努められたい。
⑥市民が関心を持てるよう、広報と議員の働き掛けに努められたい。
⑦「議会報告会」の名称を変更することを検討されたい。

その他

①ＳＮＳ媒体、動画配信、ＱＲコードの活用などを検討されたい。

中心市街地活性化特別委員会

〈設置目的〉中心市街地におけるまちづくりに関する調査研究
〈主な活動〉諸課題に対する施策についての協議、行政視察

令和元～３年　委員長：川口 仁　副委員長：渡辺 貞雄　委員：松本 樹影、井上 敏夫、池田 博英、髙橋 豊、髙村 真和（望月 真実）、難波 達哉、田上 祥子
令和３～５年　委員長：神子 雅人　副委員長：遠藤 浩一　委員：井上 敏夫、池田 博英、田口 孝男、髙村 真和、川口 仁、渡辺 貞雄（松田 則康）、石井 芳隆

活動報告

市長への要望書提出

複合施設整備などについて、令和元年にまちづくりのグランドデザインの明確化、快適に利用できる施設とすること、経済・財政効果を定量的に示すことなどを要望しました。

中心市街地活性化に向け施策を議論

さらに、令和２年に議場の天井の高さの確保、配置は総合的に判断すること、３年に議員席、議長席、理事者席の配置、４年に議会機能レイアウトや実施設計の進め方について要望しました。

行政視察

愛知県一宮市では新庁舎建設事業と図書館を含む駅前ビル、平塚市と藤沢市では議場、埼玉県深谷市と群馬県前橋市では中継モニターの配置箇所や最新式の議会中継システムを視察しました。また、開発中の本厚木駅南口地区の再開発ビルと駅前広場も視察しました。

新議場の整備に向けた視察

委員の意見

中町第2-２地区周辺整備関連事業

①複合施設について、市民への積極的な情報発信に努められたい。財政支出を極力抑える手法、駐車場利用の市民負担を軽減できる対策を調査研究されたい。
②周辺交通アクセス整備について、歩行動線と車両動線を面で捉え、周辺道路の渋滞緩和につながる対策について、調査研究されたい。

本厚木駅北口周辺整備関連事業

①交通安全性の確保、渋滞緩和ができる対策、公共交通と一般車両の動線を確保できる対策について調査研究されたい。
②厚木市の玄関口として魅力あるものになる空間を確保するための調査研究をされたい。
③既成概念にとらわれることなく、市民の多面的なニーズに応えるため、複合施設を含め周辺施設も視野に入れた完成イメージを提案できるよう調査研究をされたい。

その他

①本厚木駅周辺のまちづくりについて、市民から広く意見を聴き、回遊性の向上とにぎわいの創出に向けた調査研究をされたい。

受理日程が変わります 請願・陳情の手引きを作成

請願・陳情は、市民の皆さんの声を市政などに反映させる手段の一つです。提出方法や注意事項、審議の流れなどを手引きとしてまとめました。

〈９月定例会議からの変更点〉
当該定例会議で審議する提出締切日
（新）定例会議初日の３日前
（旧）定例会議初日の前日
※土・日曜、祝日を除く。
※初日の２日前以降に提出されたものは、次の定例会議で審議されます。

◀詳しくはホームページをご覧ください

常任委員会の行政視察

優れた施策を市政や議会運営に反映させるため、５月に先進都市を訪問し、情報収集を行いました。

	総務企画	市民福祉	環境教育	都市経済
調査項目	①定住自立圏構想 ②防災道の駅都城	①子育て交流施設『あそびあむ』 ②乳幼児教育ビジョン推進事業『乳幼児教育センター』	①スーパーエコスクール ②校内フリースクール	①スマートネイチャーシティちとせ構想 ②交流プラザ
視察先	宮崎県都城市	京都府舞鶴市	①岐阜県瑞浪市 ②愛知県岡崎市	①北海道千歳市 ②北海道札幌市

本会議の審議結果

第３回会議　提出案件 ４月21日（金）議決		各会派などの賛否　○…賛成　●…反対									議決結果
		ネクス	公明党	きずな	新政	みらい	あつぎ	共産党	無会派A	無会派B	
議案第36号	令和５年度厚木市一般会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

第４回会議（６月定例会議）　提出案件 ６月19日（月）議決		各会派などの賛否　○…賛成　●…反対									議決結果
		ネクス	公明党	きずな	新政	みらい	あつぎ	共産党	無会派A	無会派B	
議案第37号	厚木市固定資産評価審査委員会委員の選任について（新川勉氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	人権擁護委員の候補者の推薦について（服部弥生氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	人権擁護委員の候補者の推薦について（飯塚尚氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第40号	人権擁護委員の候補者の推薦について（服部憲治氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第41号	厚木市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	厚木市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	厚木市印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第44号	厚木市火災予防条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	厚木市営体育施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第46号	厚木市立情報プラザ条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	令和５年度厚木市一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第49号	工事請負契約の締結について（厚木北公民館新築工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	工事請負契約の締結について（厚木北公民館新築（電気）工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第１号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
陳情第２号	就学児童支援を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

◎令和５年４月21日、６月19日議決時の会派構成など
※議長…松田則康（議長は議案第45号（特別多数議決）を除き、表決に加わりません。）、副議長…瀧口慎太郎
※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員（＿は代表者）

ネクス…ネクストあつぎ（６）：神子雅人、奈良直史、三橋文男、田口孝男、髙橋豊、瀧口慎太郎　**公明党**…公明党（５）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山﨑由枝、田上祥子
きずな…きずな（３）：石井芳隆、松本樹影、新井啓司　**新政**…新政あつぎ（３）：髙橋知己、望月真実、髙村真和　**みらい**…あつぎみらい（２）：渡辺貞雄、松田則康
あつぎ…あつぎの会（２）：名切文梨、井上敏夫　**共産党**…日本共産党（２）：栗山香代子、池田博英　**無会派Ａ**…無会派（１）：髙田浩　**無会派Ｂ**…無会派（１）：後藤由紀子

長きにわたる議員活動の功績をたたえて

全国市議会議長会表彰

議員在職15年以上の功績により栗山香代子議員、井上武議員、名切文梨議員、松本樹影議員、難波達哉前議員が全国市議会議長会会長から表彰されました。

6月19日に厚木市議場で行われた表彰状の伝達式。左から、松田前議長、栗山議員、名切議員、松本議員、難波前議員（現県議会議員）、瀧口前副議長（井上議員は欠席）

市議会の情報はホームページから

市議会では、より開かれた議会を目指して情報発信に努めています。

◆インターネット議会中継
本会議、委員会の生中継・録画配信
◆会議録
本会議、委員会、子ども議会
◆市議会だより
バックナンバー、表紙写真募集案内
◆その他
会議日程・結果、一般質問通告一覧、議員名簿、議会のしくみ、議長交際費、政務活動費会計報告、請願・陳情、傍聴案内など

◀市議会ホームページはこちらから

第５回会議・第６回会議（９月定例会議）の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
令和５年 第５回会議 日時▶８月８日(火)９時30分～(前後する場合あり) 議長・副議長の選挙、常任委員の選任など				8/31	9/1 本会議、予算決算常任委員会	2
3	4	5	6	7 一般質問	8 一般質問	9
10	11 一般質問	12	13	14 総務企画常任委員会・分科会	15 市民福祉常任委員会・分科会	16
17	18 敬老の日	19 環境教育常任委員会・分科会	20 都市経済常任委員会・分科会	21	22 総務企画分科会（決算議案）	23 秋分の日
24	25 市民福祉分科会（決算議案）	26 環境教育分科会（決算議案）	27 都市経済分科会（決算議案）	28	29	30
10/1	2	3	4 予算決算常任委員会	5 本会議、広報広聴特別委員会	※会議は原則として午前９時に開きます。	

請願・陳情　９月定例会議で審議する請願・陳情の提出締切日は８月29日です。